

シルバーだより明石

銀の花

正会員数

1,258人

男 870人

女 388人

(平成25年5月1日現在)



『朝ご飯だよ!!』 早朝のエサやり(明石公園にて)

写真提供：坂本正子

【発行】一般社団法人 明石市シルバー人材センター

〒673-0026 明石市船上町5-2

TEL (078) 922-5000 FAX (078) 922-5040

URL <http://www.sjc.ne.jp/akasi/>

【企画・編集】広報部会

平成24年度 第2回通常総会 平成25年度 定時総会

それぞれ開催

☆平成24年度第2回通常総会

◆ 第1部 通常総会

平成25年3月19日（火）午後一時より明石市立市民会館において、出席会員964名（委任状出席含む）のもとに開催されました。

寺山陽三理事長の挨拶の後、来賓の高橋嗣郎明石市副市長、尾仲利治明石市議会議長からそれぞれご祝辞をいただきました。

議事については、議案第一号、平成25年度事業計画案、同二号、平成25年度収支予算案など合計五議案は審議の結果すべて原案どおり承認されました。



◆ 第2部 安全推進大会

- 1 委員長あいさつ
- 2 安全標語優秀作品表彰(各作品は8頁に掲載)
- 3 アトラクション ※明石市消費生活相談員出前講座「うまい言葉にご用心劇場（寸劇）」



☆平成25年度定時総会

◆ 第1部 定時総会

平成25年5月30日（木）午後一時より明石市立市民会館において、出席会員907名（委任状出席含む）のもとに開催されました。



平成25年4月より、一般社団法人としてのスタートにあたり、寺山理事長の挨拶に続き、来賓として泉 房穂明石市長、山崎雄史市議会議長からそれぞれご祝辞をいただきました。

続いて永年功労会員（大野述尚氏以下72名）の表彰が行われました。（受賞者名簿は3頁に掲載）



更に、役員等表彰者として松村和美理事に感謝状が贈られました。

議長選出の後、議案の審議に入り、議案第一号、平成24年度決算書類の承認、議案第二号、理事長に対する権限委任の二議案は原案どおり承認されました。

また、平成24年度の事業報告と適正就業基準について報告がありました。

◆ 第2部 アトラクション ※ピアノとサックス の演奏



ポスティング事業がスタート、配布会員大募集中です

ポスティング事業がスタートしました。3月26日に地域班、全地区班長、副班長さんの方に説明会を開催しました。そして4月12日から「県民だより」の市内全戸への配布が始まり、4月15日には「市政だより」と「市議会だより」の約3,500戸の特定の家庭等への配布が開始されました。「県民だより」は月1回、「市政だより」は月2回（原則毎月1日号と15日号）が予定されています。臨時の配布物として、明石市水道部から工事案内チラシ「水道部からのお知らせ」を、衣川地区を中心に7,000部の配布も行いました。

多くの方々のご協力をいただき無事スタートできました。会員の皆様には心からお礼申し上げます。

さて、県民だよりは全市の世帯に約129,000部を総勢約300名の会員で配布、市政だよりも80数名の会員で配布していただきました。しかしながら実際に行ってみると配布いただく会員の人数が足りない状況が明らかになり、

これからの事業展開を考えると会員の皆さんには、全員ポスティング事業に従事をお願いしたいと考えます。



県下では尼崎市、伊丹市、西宮市等が積極的に実施しています。明石市でも新たな事業活動として就業機会の拡大を目指しスタートしました。目的と意義を改めてご理解いただき、会員の皆さんには是非とも積極的にご協力をお願いします。

ポスティングは技術も知識も不要です。すぐに始められます。そして健康にも大いに役立ちます。会員皆様で声をかけあって、ご参加いただいていない方にはぜひとも参加をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）

永年会員表彰

平成25年度定時総会（5月開催）において次の会員の方が表彰を受けられました。これからもセンターの発展にお力添えください。

北野 至	植本 尚	中橋 夏夫	平田 俊夫	福田 増雄
大野 述尚	津村 莊一郎	関 克	古川やよみ	丸山 順三
森 正幸	藤原 秀雄	澤田 則義	森山 昭子	藤原 祥次
伊地知澄清	中村 重道	菊池 重美	山下 二郎	藤原 克己
堀井 幸雄	福永スマ子	村上 芳男	伊藤 順治	山下 朝子
西海 幸夫	福永 隆博	中川美代子	岩下 藤雄	佃井 政次
芝野 由行	足立 均	赤松 正隆	竹西 操	伊藤 景子
長尾千鶴子	前田須美子	山崎 澄子	石田 信一	山崎 武
南 敬一郎	福吉 隆志	山崎 照芳	田中 操子	藤本 栄
綱井富美枝	山田 清隆	奥野 賢二	木井 敏勝	葛原 忠雄
岡田 久恵	藤本 智恵	長谷川允宏	岡谷 義弘	一瀬 篤郎
細田 笑子	岩井 一子	高見 信子	伴 俊太郎	田中 光春
大林 進	黒田 勝己	平賀 照美	中野 壽恵	
大山 年子	神田 勉	大西銑三郎	藤井 明	
川口 博	市川 敏夫	足立 三郎	岩佐 繁三	

（敬称略）

様々な活動の記録

a l a c a r t e

●●● 一般社団法人としてスタート ●●●

昨年9月の臨時総会で承認されました、一般社団法人の移行が終わりました。

兵庫県知事の認可、そして登記等の手続きが完了して「一般社団法人 明石市シルバー人材センター」として新たに4月1日にスタートしました。

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づいて変更されたものです。定款等の変更もありますが、まずは「社団法人」から「一般社団法人」という名称の変更が分かりやすいところです。

それに伴い発注者との契約書から封筒、名刺、宣伝用チラシ等の印刷物の修正が必要になりました。印刷物等は出来る限り無駄にならない様に準備をしてきましたが、切り替えにはもう少し時間が必要ですが、これを機会に事務局全員心機一転頑張りたいと考えています。(事務局)

●●● 会員親睦日帰り旅行 ●●●

今回のシルバー日帰り旅行の趣旨“笑い”を前面に会員240名が参加。2月22日、23日の両日、2班に分かれて開催されました。明石駅前出発点からバスで神戸港へ。雪舞う中、遊覧船ロイヤルプリンセスに乗船。まずはお笑いショー“自由気まま”の軽妙なテンポの漫才、次はテレビでお馴染み“海原はるか・かなた”。髪の毛を吹いて…いつもの仕草、一同腹を抱えての大爆笑。会員の飛び入りもあり愉快的な船旅でした。神戸港に戻り、次は一路古典落語の舞台、落語のまち池田市へ。昼は不死王閣でミニ会席をいただきました。そして上方落語資料館“みゅーじあむ”に出向きました。セミプロの方がここを拠点に腕を磨き、熱演されています。常設展示場では古典落語界の足跡を感じ取りました。帰路は白鶴酒造資料館へ、昔の酒造工程を見学。試飲の後、土産を両手に抱えて甲南漬本店へ移動。

ここでもおみやげを物色。土産品満載のバスは予定よりはやく明石へ到着。ご参加の皆様お疲れ様でした。次回の再会を楽しみに!! (東啓二会員 寄稿)



日帰り旅行 ちょっと嬉しいお話

バスには職員が添乗していました。バスが明石に到着。会員の皆さんがバスを降りられて、職員は無事の到着にホッとしていたときのこと。ある男性の会員さんが職員に小さなメモを渡して帰って行かれました。お土産のレシートの裏にしたためられた句あり。“楽しい一日と帰路を惜しむ心境”が綴られていました。

旅の疲れが吹き飛んでしまうほど嬉しく心が温まるメモでした。(事務局)

同好会(サークル)活動報告

ぶらりウォッチング同好会

代表世話人 中谷 治



最近少人数ですが、須磨離宮公園の紅葉狩り、須磨浦公園鉢伏山上の観梅ハイク等皆で和気あいあい楽しくすごせました。次回は、冒険ハイキングでスリルを味わったりする予定で、楽しみにしている近況です。

例会の開催は、年4回程度です。会員の皆様も入会して一緒にぶらりと散策してみませんか？



囲碁・将棋同好会 会長 山田 耐

会が、発足して4年、会員20名程度でスタートしましたが、年々会員が減少し、会の運営も厳しくなっていました。会員の努力とシルバー事務局の協力をいただきながら、徐々にですが開催日には参加人数も増え安定してまいりました。また、外部の会との交流試合もあり活気が出てきました。

最近女流棋士が2名入会され例会も明るい雰囲気になってきました。しかし、囲碁のメンバーが少なくなっています。

理由は多々あるのですが、何とか囲碁メンバーを増やしたいと頑張っております。

囲碁を知らない方、下手と思っている方、趣味として覚えたい方、ボケ防止のためにと思っている方是非、囲碁・将棋同好会に参加、入会をお待ちしています。



【例会日・場所】 毎月第二日曜日 10時～17時 明石総合福祉センター内

随時会員
募集中!!

ぶらりウォッチング、囲碁将棋、カラオケ、手芸、童謡唱歌の各同好会入会ご希望の会員は、**センター事務局 TEL922-5000 月曜～金曜の平日9時～17時の間**にお問い合わせください。 【担当：まさい・おざわ・まえかわ】

会員ふれあい広場

今回は、シルバー人材センター事務所の1階の作業場で襖・障子・網戸の張替え作業に従事する会員の方達を紹介します。

佐藤伸治さん(松が丘)、小谷積さん(二見)、高梨勉さん(宮の上)、岡田康夫さん(太寺)、峠正志さん(二見)の5人。峠さんは現在静養中のため、4人で作業に携わっています。



本職であった佐藤さんを師匠に皆さん初歩から指導を受け、一つ一つ覚えたとのことですが、仕事の奥深さに日々苦心されています。最近では襖も様変わりし、板戸はもとより発泡スチロールやダンボールで出来た襖もある様で、「ええっ」と思わず聞き返したほどです。『ダンボール襖片面のみの張替え』との注文もあり、これが又難題。乾いた後のひずみが気になりと話され、変に納得してしまう。天気にも左右され、のりの濃さや、つけ方、紙の置き方も一工夫が必要であり、スピードも要求される。少しでも手を抜くとすぐに仕上がりに影響する。この仕事はまさに職人芸だと強調する高梨さん。数をこなせば多少の技が身に付くものの、生まれながらのカンとセンスが大事。カンどころが非常に難しいと話す岡田さん。すでに8年が経過する小谷さんでも佐藤さんの完璧な仕事にはまだまだと謙遜する。そばで黙って耳を傾けている佐藤さん。テレを隠しきれない。

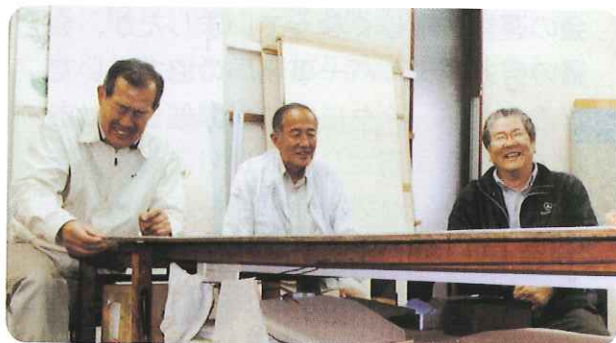


『センターと共に歩んで』(12)

佐藤さんに秘訣を聞いてみると、「一枚・一枚丁寧に張る事。」と実に明快な答えが返ってきた。

寡黙な佐藤さんにさらに本職時代のエピソードをと促すと「今ではほとんど張る事も無くなったが、高級手漉き和紙を使い、張り上がった上にニカワを塗り、こうしてそお〜と金フリ(金粉を落とす)していく」とその軽妙な手さばきを披露。皆さんうっとり食い入るように職人芸を眺めている。

この仕事の喜びはなんでしょうか?と話題を変えてみた。「そりゃ、上手く仕上がった時ですよ」一斉に答えが返ってくる。そして納品した時、発注者の手放しで喜ばれる表情を見て改めてこの仕事をしていて良かった。健康のためとのキッカケであったが思いがけない至福の 때가味わえると顔がほころぶ。皆さんの笑顔が素敵です。



日常生活では、古城めぐりが趣味の岡田さん。特に戦国時代にひかれ、世が世ならと思いは馳せる。メタボ解消を掲げながらも少しでも美味しいものとひねり出す高梨さん。温泉と散歩で健康保持に努める佐藤さんと小谷さん。甘党・辛党の皆さん、仕事以外にはそれぞれのつながりは無いとのことですがシルバー会員としての仲間意識、お互いを助け合い、労わり合う気持ち。四人の絆はしっかりと結ばれている。

いつまでも、いつまでもお元気で!!

(原田澄子)



会員文芸ひろば



「母の思い出」

谷八木小学校区 中島 和子

いつも、朝まだ明けないうちに起き、かまどに火をつけ、朝ご飯の準備をしている母。

大家族の食事を作り、あわただしいうちにも、母のぬくもりを感じていたような気がします。

ゆっくりする間もなく、牛の世話、草刈り、そして畑の手入れと、次々と働いていた母。

外から帰ってくる母は、汗びっしょりで、青い草のおいが漂っていました。それは優しい母のにおいにも思えたのでした。子ども心にも、母はいつ寝ているのかなと思ったものです。

職人の父は、子供には優しくしてくれましたが、母には結構厳しかった気がします。

その父も病気で倒れ早く他界し、その後、兄と一緒に頑張り家を守りました。

その兄も倒れ、今度は兄の世話をし、頑張りましたが、九十四歳で他界しました。

今もこの母の生き方、力強さは私に感謝の気持ちと優しさを与えてくれます。



「レンタサイクル」前号より続く

和坂小学校区 松本 邦生

自転車利用の形態は定期と一回、それぞれに応じた手続きを行う。定期利用に関しては一か月ごとに更新する決まりになっている。その際、古い定期利用券を回収し、新しい利用券と引き換えに二千円を支払ってもらう。

一回利用に関しては一日・三百円、返却は翌日の午前10時までとなっている。貸し出すときには鍵と一回利用券を渡すのだが、初めて利用する人には身分を証明するもの、例えば運転免許証、健康保険証などを提示してもらいコピーしてファイルしておく。万が一に備えての処置なのだ。

一回利用の客の中には再利用を希望する人が多い。その都度、前回の利用券を回収し、新しい利用券と鍵を渡すのだが、二日以上経っていないか確認することを怠ってはならない。あくまでも一日について三百円なのである。

一回利用の自転車が開店時に戻ってきていない場合は記録し、鍵盤に「貸出中」の札を掛けておく。以上が日常業務のあらましだ。この他、定期券の破損や紛失、盗難等、様々な事態に対処しなければならぬ。自転車の整備点検や修理も業務の一環である。

Ⅱ 次号に続く Ⅱ



先頃、現代の世相の一端を鋭く映したNHK TV番組「無縁社会」を見た。視点は些か異なるが、すでに高齢者群に仲間入りしているひとりとして昨今自戒を込めて思うことは、年寄りの老化の目安は「どれだけ周囲への意識や気配りがあるか」という点にあると思う。つまり、老人は概して社会の迷惑をわきまえず、自分独自の意思や見当違いな認識に固執して行動するから、周囲の空気に馴染めず疎んじられたり、周囲との人間関係を崩したりする。自己防衛の意識が異常に強いから、極度の利己主義になっている場合も多い。

一方、今の若者にも似て非なる傾向が見られ、現実回避派が目立つ。ブログだの、チャットなどに浸るバーチャル・リアリティーの世界に陥ると荒廃した心情の人間が生まれやすい。これも困る。若者も老人も出来るだけ外へ出て現世に触れ実人生の甘やかしのない厳しさ、重さを感じ取らねばならないと思う。(荒川克博)

事務局からのお知らせ INFORMATION FROM CENTER OFFICE

■ 会員親睦会のお知らせ

今年度はバス旅行に替えて新喜劇“よしもと in 明石”観劇を予定しております。

日時：8月3日(土)

1回目 13:00 / 2回目 16:00

場所：アワーズホール・明石市立市民会館

観劇の詳細・申し込みは後日お知らせします。

■ 熱中症にご注意

- ・仕事前も仕事中でもスポーツドリンクや水などをこまめに補給しましょう。
- ・直射日光をできるだけ避け、つばの広い帽子を着用しましょう。
- ・吸湿性、通気性の良い素材の服装にしましょう。



■ ハチさされにご用心!

- ・ハチの巣には近づかない。
- ・蜂スプレーで退治する。
- ・蜂が出てきそうな場所では白っぽい服を着る。



もし刺されてしまったら!!

- ・刺された場所から離れ、きれいな水で患部を洗いましょう。
- ・刺されたところに針を残している場合、出来るだけ早く針を抜きましょう。
- ・赤く腫れはじめたところに、抗ヒスタミン軟膏を塗りましょう。
- ・傷みやかゆみ、腫れがひどい場合は病院で受診しましょう。

■ 配分金振込日のご案内

就業月	振込月日	就業月	振込月日
6月分	7月12日(金)	9月分	10月15日(火)
7月分	8月15日(木)	10月分	11月15日(金)
8月分	9月13日(金)		

(10月分より下期会費の引き去り)

■ H24年度事業実績報告

(H24年4月～H25年3月)

● 会員数	1,235人(3月末)	● 受注件数	4,357件
		内訳	(累計)
● 就業実人員(人)	1,066人	{ 公共	182件
		{ 民間	4,175件
● 就業率(%)	86.32%	● 契約金額合計	672,487千円
		内訳	
		{ 公共	174,886千円
		{ 民間	497,601千円

■ (公社)兵庫県シルバー人材センター協会より
就業開拓・PR推進員着任

4月より当センターに藤原由美さんが着任されました。

※ 平成24年度安全標語

優秀賞

「無事故で咲かそう シルバーの花」

(作) 足立 均

優良賞

「事故防止言われてするより先に実行」

(作) 赤松 正隆

「気をつけようなれた作業も油断なく」

(作) 柴田 満作

佳作

「石ころの多い作業場注意厳しく」

(作) 井上 勉

「事故なくそう無病息災身を守る」

(作) 山本 昇

「ゆとりある安全作業で事故はゼロ」

(作) 岡田 保之

編集後記 EDITOR'S POSTSCRIPT

★本誌発行月の都合上、今年3月開催の平成24年度第2回通常総会、及び5月開催の平成25年度定時総会の模様をあわせて報告しました。

★表紙写真は当センターが実施する多くの職種の中から、明石公園お堀の白鳥への餌やり(飼育)現場を早朝に訪問し撮影したものです。